

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年度 6月17日(火) 対象:0歳児クラス

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と光

<テーマの設定理由>

都心にありながら広い園庭があり、1歳児以上の子ども達は日々自然の中で植物や虫などに関わる姿が多く見られる。0歳児の子ども達はハイハイやつかまり立ちが始まったばかりで自分の意思で動けるようになったことで世界が広がり、色々な物に興味を持って探索活動を楽しんでいる。また、保育室内の装飾(モビール)がクルクル回る様子やモビールのホログラムがキラキラ光る様子に興味を示す姿があった。自然に光を取り込みながら光を使った遊びや草花を触り、風を感じ、雨を見るなど自然を使った様々な遊びでアプローチをし、自然の不思議さに驚き、より興味を示すことで好奇心を引き出していきたい。

## 2. 活動スケジュール

- ・ 6月 保育室に入り込む光を使ってステンドグラス風の遊びを楽しむ。
- ・ 7月 作ったライトの玩具で光の不思議に触れる。
- ・ 8月 ライトを使って、壁に映るものに興味を示す。
- ・ 9月 水たまりの波紋、風の音、風に揺れる草花をプロジェクターで室内に実現、触って遊ぶ。
- ・ 12月 再度プロジェクターを使い、映像のバリエーションを増やししながら子どもの興味関心を広げる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 6月 窓に透明折り紙でステンドグラス風の装飾をする。  
ボールにカラーセロファンを貼り、光遊びが出来る玩具を作成する。
- ・ 7月 クリアボトルにスパンコールや洗濯のりを封入し、懐中電灯と合体させライト作る(3本)。
- ・ 8月 ライトを使い、壁や天井に映し出せるイラストを作る。
- ・ 9月 iPadに雨や風などを録画し、プロジェクターで室内に流す。\*音源があると尚良い。
- ・ 12月 プロジェクターやiPadで子どもが興味関心を持ちそうな自然や動物などの映像を用意する。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

写真 ①：6月1週目、窓に貼ったステンドグラスのカエルを触っている。窓から朝日が差し込むと床に映るカエルを保育士と触る姿もあった。日が昇るにつれて太陽の光が外壁に当たると日が入らず10分程度ですぐに光遊びが終わってしまう。

写真②③：ステンドグラス風アレンジした段ボール型のドームを作成することにし、テラスに出すことでより多く光を取り込めるようにした。テラスに映る影やドームの中に入って座り、ステンドグラスを触って遊べるようにした。

写真 ④：室内にドームを移動し、太陽の代わりにライトの光を当ててみる。ライトが当たり、ドームの内側に差し込む光を見つけると触ったり、ライトが光る場所を探して遊んでいる。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

写真 ①：手の届く場所に身近な生き物が貼ってあることに気付くと、窓に貼っているカエルを触る姿がある。朝日が差し込み、床にカラー折り紙の光が映るが、そこまで興味を示さない。

写真②③④：前回よりも地面に映る光の色がくっきりと映り、興味津々で光を手で触っている子どもがいる。保育士が段ボールやライトの光の位置を変えてみると、光が動くのを面白がって手で追いかける姿もある。初めての段ボールドームに警戒するように怖がる表情を見せる子どももいたが、次第に環境に慣れてきて光を追って遊び始めていた。

床だけではなく、カラーセロファンにも触れていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

・色々なものを作ってみるが初めてのものに対して警戒心を強く抱く子どもと興味を示す子どもとはっきり分かれる。活動内容を一日で終わらせるのではなく、継続的に行っていくことで警戒心が溶け、興味関心へと替わり、好奇心を引き出していけるのではないかと考える。

・段ボールドームをテラスに出して自然の光で試すとテラスに映った光の色やカラーセロファンに触れていた。室内ではステンドグラスにライトを当てると、ライトの光に興味を示す姿があった。太陽の光にこだわらず、ライトを使った遊びも取り入れていけると遊びの幅が広がっていくと思った。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年度 7月8日(火) 対象:0歳児クラス

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と光

<テーマの設定理由>

都心にありながら広い園庭があり、1歳児以上の子ども達は日々自然の中で植物や虫などに関わる姿が多く見られる。0歳児の子ども達はハイハイやつかまり立ちが始まったばかりで自分に意思で動けるようになったことで世界が広がり、色々な物に興味を持って探索活動を楽しんでいる。また、保育室内の装飾(モビール)がクルクル回る様子やモビールのホログラムがキラキラ光る様子に興味を示す姿があった。自然に光を取り込みながら光を使った遊びや草花を触り、風を感じ、雨を見るなど自然を使った様々な遊びでアプローチをし、自然の不思議さに驚き、より興味を示すことで好奇心を引き出していきたい。

## 2. 活動スケジュール

- ・ 6月 保育室に入り込む光を使ってステンドグラス風の遊びを楽しむ。
- ・ 7月 作ったライトの玩具で光の不思議に触れる。
- ・ 8月 ライトを使って、天井や壁に映るものに興味を示す。
- ・ 9月 水たまりの波紋、風の音、風に揺れる草花をプロジェクターで室内に実現、触って遊ぶ。
- ・ 12月 再度プロジェクターを使い、映像のバリエーションを増やししながら子どもの興味関心を広げる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 6月 窓に透明折り紙でステンドグラス風の装飾をする。/ 段ボールにカラーセロファンを貼り、光遊びが出来る玩具を作成する。
- ・ 7月 クリアボトルにスパンコールや洗濯のりを封入し、懐中電灯と合体させライト作る(3本)。
- ・ 8月 ライトを使い、壁や天井に映し出せるイラストを作る。
- ・ 9月 iPadに雨や風などを録画し、プロジェクターで室内に流す。\*音源があると尚良い。
- ・ 12月 プロジェクターやiPadで子どもが興味関心を持ちそうな自然や動物などの映像を用意する。

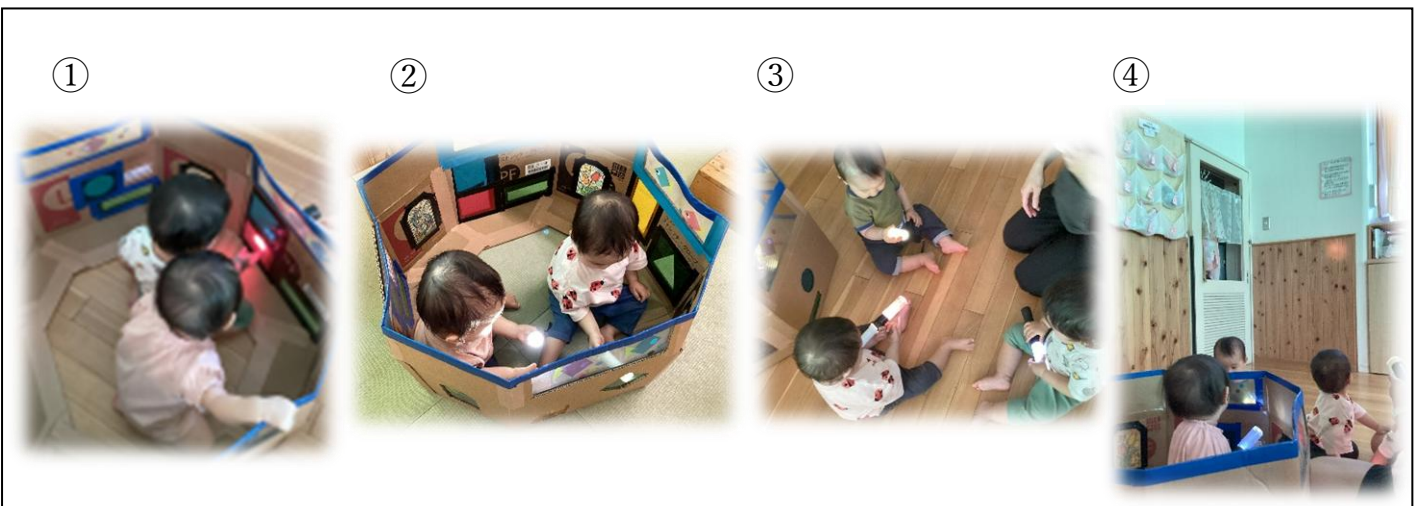
#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・写真①：6月に遊んだスタンドグラス風ドームを室内で使用する。太陽の光の代わりに今回は最初からライトの光を当てて遊んでみる。光る場所がわかると追って遊ぶ姿があった。
- ・写真②：【太陽の光】から【ライト遊び】に移行していく。  
保育士の真似をしてドームのセロファンにペンライトを当てて、光で遊ぶ。
- ・写真③：ペンライトの光に当たり、スティック内の封入がキラキラ光ると子どもの表情がパッと変わる。ライトを点けたり、消したり、封入を上下に動かすなどしてしばらく遊ぶとその様子に子ども達は見入っている。
- ・写真④：保育士がライトを天井や壁に映すと光を目で追う姿が見られる。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・写真①：声は発さないが光るカラーセロファンを見つけると触る。何度も遊んでいるので慣れている。
- ・写真②：個々に興味を示したものでよく遊ぶ。ライトの光を見ると口を開けて食べようとする姿も見られた。
- ・写真③：ペンライトが光るとパット目を見開き、驚く。保育士がペンライトを上下させるとスノードームのように封入がゆっくり動くのでじっと見つめている。一人一本ずつあるので自分でも上下に振る姿が見られた。
- ・写真④：個々に遊んでいる時に保育士がライトを天井や壁に照らすと光に気づいた子どもはライトを目で追う。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・前回の振り返りを活かして普段からスタンドグラス風ドームを遊びの中に取り入れていくことで警戒心が興味へと変わり、それぞれが色々なものに興味を持って遊んでいることがわかった。
- ・ペンライトの中がキラキラ光り、動く様子だけを楽しむのではなく、ライトの光を目で追ったり、食べようとする姿が見られ、光自体に興味を示して遊んでいることがよくわかる。壁や天井に映るものを追って遊ぶところでは次回はライトの先端に動物などの絵を取り付けて、壁に映った物が動くような遊びをするのか計画を立ててみたいと思った。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込 2 - 2 - 3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年度 8月6日(水) 対象:0歳児クラス

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と光

<テーマの設定理由>

都心にありながら広い園庭があり、1歳児以上の子ども達は日々自然の中で植物や虫などに関わる姿が多く見られる。0歳児の子ども達はハイハイやつかまり立ちが始まったばかりで自分に意思で動けるようになったことで世界が広がり、色々な物に興味を持って探索活動を楽しんでいる。また、保育室内の装飾(モビール)がクルクル回る様子やモビールのホログラムがキラキラ光る様子に興味を示す姿があった。自然に光を取り込みながら光を使った遊びや草花を触り、風を感じ、雨を見るなど自然を使った様々な遊びでアプローチをし、自然の不思議さに驚き、より興味を示すことで好奇心を引き出していきたい。

### 2. 活動スケジュール

- ・ 6月 保育室に入り込む光を使ってステンドグラス風の遊びを楽しむ。
- ・ 7月 作ったライトの玩具で光の不思議に触れる。
- ・ 8月 ライトを使って、壁や天井に映るものに興味を示す。
- ・ 9月 水たまりの波紋、風の音、風に揺れる草花をプロジェクターで室内に実現、触って遊ぶ。
- ・ 12月 再度プロジェクターを使い、映像のバリエーションを増やししながら子どもの興味関心を広げる。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 6月 窓に透明折り紙でスタンドグラス風の装飾をする。 / 段ボールにカラーセロファンを貼り、光遊びが出来る玩具を作成する。
- ・ 7月 クリアボトルにスパンコールや洗濯のりを封入し、懐中電灯と合体させライト作る(3本)
- ・ 8月 ライトを使い、壁や天井に映し出せるイラストを作る。
- ・ 9月 iPadに雨や風などを録画し、プロジェクターで室内に流す。 \*音源があると尚良い。
- ・ 12月 プロジェクターやiPadで子どもが興味関心を持ちそうな自然や動物などの映像を用意する。

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

◎7月は室内でライトの光を使い、スタンドグラス風ドームで遊ぶ。光る場所がわかると追って遊ぶ姿があった。それを踏まえて今回は壁や床にライトを使って写し出すイラストを用意し、影絵のようにして遊ぶことにした。

- ・ 写真①：壁に光が映ると興味を示して子どもが集まる。
- ・ 写真②③：壁に生き物のイラスト映す。
- ・ 写真④：ライトやイラスト全部出し、個々に好きな遊びを楽しむ。保育士が床にイラストを映してみる。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 写真①：壁に映るイラストを触ろうとする。
- ・ 写真②：ライトと壁を交互に見て不思議そうにする。ライトから出る光に気付くと光を触ろうとする。
- ・ 写真③：保育士がカエルのイラストを出しながら「カエルだよ」と話すと離れた所にいた子どもが「カエル」と言いながら見に来る。カエルを触りながら「かわいい」と他の子どもが言う。
- ・ 写真④：個々に好きなもので遊びながらも床にイラストが映っているのに気が付くと不思議そうに見入る。

【①壁に映るイラスト】



【②ライトの光に気付く】



【③カエルの絵で遊ぶ】



【④色々な光で遊ぼう！】



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

前回の様子を踏まえて今回は壁や床にライトを使って写し出すイラストを用意し、影絵のようにして遊ぶことにした。直接壁にイラストを映し出そうとしていたが模造紙を貼ることにした。そうすることでイラストがきれいに映り、見やすかった。突然、壁に生き物が映し出された時の子ども達の不思議そうにする姿が印象的だった。今回は静止画を活用して行ったがイラストが動くものになると子ども達はどんな反応をするのか行ってみたい。次回に向けて動画を用意していく。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年度 9月12日(金) 対象:0歳児クラス

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と光

<テーマの設定理由>

都心にありながら広い園庭があり、1歳児以上の子ども達は日々自然の中で植物や虫などに関わる姿が多く見られる。0歳児の子ども達はハイハイやつかまり立ちが始まったばかりで自分に意思で動けるようになったことで世界が広がり、色々な物に興味を持って探索活動を楽しんでいる。また、保育室内の装飾(モビール)がクルクル回る様子やモビールのホログラムがキラキラ光る様子に興味を示す姿があった。自然に光を取り込みながら光を使った遊びや草花を触り、風を感じ、雨を見るなど自然を使った様々な遊びでアプローチをし、自然の不思議さに驚き、より興味を示すことで好奇心を引き出していきたい。

## 2. 活動スケジュール

- ・6月 保育室に入り込む光を使ってステンドグラス風の遊びを楽しむ。
- ・7月 作ったライトの玩具で光の不思議に触れる。
- ・8月 ライトを使って、壁や天井に映るものに興味を示す。
- ・9月 水たまりの波紋、風の音、風に揺れる草花をプロジェクターで室内に実現、触って遊ぶ。
- ・12月 再度プロジェクターを使い、映像のバリエーションを増やししながら子どもの興味関心を広げる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・6月 窓に透明折り紙でステンドグラス風の装飾をする。/ 段ボールにカラーセロファンを貼り、光遊びが出来る玩具を作成する。
- ・7月 クリアボトルにスパンコールや洗濯のりを封入し、懐中電灯と合体させライト作る(3本)。
- ・8月 ライトを使い、壁や天井に映し出せるイラストを作る。
- ・9月 iPadに雨や風などを録画し、プロジェクターで室内に流す。\*音源があると尚良い。  
\*8月、9月は壁に白の模造紙を貼り、イラストや映像を見やすくする。
- ・12月 プロジェクターやiPadで子どもが興味関心を持ちそうな自然や動物などの映像を用意する。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

◎ 8月は室内で壁や床にライトを使って写し出すイラストを用意し、影絵のようにして遊んだ。静止画を活用して行ったが今回は動画を用意して、壁に映し出すことにしてみる。準備の時から興味津々で見ているが壁に光が映ると表情がパッと変わり、興味を示す子ども達だった。

- ・写真 ①： 風に揺れる草花の映像を壁に映す。
- ・写真 ②： 雨が降る園庭の映像を壁に映す。
- ・写真 ③： 打ち上がる花火の映像を壁に映す。
- ・写真 ④： 魚が泳ぐ水族館の映像を壁に映す。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・写真①： 保育士が「お花だね」と指を差すと「わ～！」と声を出し、触ろうとする。友達の服に映った花を触ろうとする子どももいた。
- ・写真②： ポツンポツンと水たまりに映る波紋を指でなぞる。友達の姿を見て真似する子どもがいる。
- ・写真③： 花火が打ちあがる時に出る光を指で転々と追う。花火が開くと撫でている。
- ・写真④： 泳ぐ魚を見て叩いたり、触る。大きな魚が目の前を通過しても驚く様子はなかった。

#### 5. 振り返り

【①風に揺れる草花】



【③打ち上がる花火】



【②水たまりの波紋】



【④水族館の泳ぐ魚】



##### <振り返りによって得た先生の気づき>

草花や花火、魚など動くものが映し出されると興味を示して引き込まれていく。動くものを触ったり、叩いたり、花火の光を点で追うなど子どもによって様々な姿が見られ楽しんでいった。水族館の映像はきれいで海の中にいるようで特に印象的で良かった。

今回のすくわく活動を行い、子ども達の反応が良かったので動物など他の映像を見て、どんな表情をするのかなと思うと今後も色々な映像を集めて遊び中で光遊びを継続して行っていく。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年度 12月23日(火) 対象：0歳児クラス

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と光

<テーマの設定理由>

都心にありながら広い園庭があり、1歳児以上の子ども達は日々自然の中で植物や虫などに関わる姿が多く見られる。0歳児の子ども達はハイハイやつかまり立ちが始まったばかりで自分に意思で動けるようになったことで世界が広がり、色々な物に興味を持って探索活動を楽しんでいる。また、保育室内の装飾(モビール)がクルクル回る様子やモビールのホログラムがキラキラ光る様子に興味を示す姿があった。自然に光を取り込みながら光を使った遊びや草花を触り、風を感じ、雨を見るなど自然を使った様々な遊びでアプローチをし、自然の不思議さに驚き、より興味を示すことで好奇心を引き出していきたい。

## 2. 活動スケジュール

- ・ 6月 保育室に入り込む光を使ってステンドグラス風の遊びを楽しむ。
- ・ 7月 作ったライトの玩具で光の不思議に触れる。
- ・ 8月 ライトを使って、壁や天井に映るものに興味を示す。
- ・ 9月 水たまりの波紋、風の音、風に揺れる草花をプロジェクターで室内に実現、触って遊ぶ。
- ・ 12月 再度プロジェクターを使い、映像のバリエーションを増やししながら子どもの興味関心を広げる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 6月 窓に透明折り紙でステンドグラス風の装飾をする。/ 段ボールにカラーセロファンを貼り、光遊びが出来る玩具を作成する。
- ・ 7月 クリアボトルにスパンコールや洗濯のりを封入し、懐中電灯と合体させライト作る(3本)。
- ・ 8月 ライトを使い、壁や天井に映し出せるイラストを作る。
- ・ 9月 iPadに雨や風などを録画し、プロジェクターで室内に流す。 \*音源があると尚良い。
- ・ 12月 プロジェクターやiPadで子どもが興味関心を持ちそうな自然や動物などの映像を用意する。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

◎9月は動画を用意して壁に映し出した。反応が良かったので再度プロジェクターを使用し、子どもが興味関心を持つ画像を用意し、子どもの反応や表情、少しずつ言葉が出てきているので言葉にも注目していく。

- ・写真①：森の中の動物の映像を映し出す。
- ・写真②：犬の映像を映し出す。
- ・写真③：猫の映像を映し出す。
- ・写真④：オーロラや花火を映し出す。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・写真①：「あっ！」と言いながら動く動物を指差しして追ったり、怖がって保育士に抱っこを求める。「ライオン!」「キリン!」など知っている動物が出てくると名前を言う姿が見られる。
- ・写真②：「わんわん!」と言いながら犬を追いかける。
- ・写真③：「にゃんにゃん!」と鳴き声を真似する。
- ・写真④：オーロラの線を指でなぞる姿が見られる。

【①森の動物】



【②野原で遊ぶ犬】



【③猫】



【④オーロラ】



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・前回の映像では職員が実際に撮影してきた映像を使用したので見せられるものに限りがあった。今回は映像をサイトから使用することができたので、子ども達に見せられる幅が広がり、色々なものを用意する事が出来た。
- ・絵本に興味が出ており、普段からライオンやシマウマなどの動物を見ていたので動物を喜ぶと思って用意していたが、実際に動いている姿を見ると怖がり保育士に抱っこを求める姿があった。一方、身近にいる犬や猫の方が反応が良く、「わんわん」「にゃんにゃん」と鳴き声を真似たり、触る姿があり興味を持っていることがよくわかった。